



時間停止 TIME STOP



やあ、みんな。
俺は**西風騎士団**
セビュロス
で
非常勤の門兵を
やつて いる者だ

うつ…!!

ああ、すみません。
口の中に出すつもりは
なかつたんですが…

ビクニ

ビュル



ん⋮⋮?

何をしてるって、
ああ、これのことかい？



彼女はキヤサリンさん。

ここモンドの冒険者協会の
受付嬢さ。変わった舌を
持つていてとても気持ちいいよ。



おっぱいもふにふにで
ついつい押し付けてしまう。
本当にいけない受付嬢だ。

ふくちゃん

むにい...

カチン

カチュ

俺がこの時間停止効果付き
聖遺物を手に入れてから
初めて使った女性もある。
オプション

うつ…ごめんね。時間が
動き出しても何が起きたか
分からぬよな…



モンドの一般市民は
あらかた犯し尽くした。
となれば次は…





神の目を持つ者。
神に選ばれ神になる資格を
持つ者。すなわち〈原神〉

今まで畏れ多く
手が出せなかつた。
だが、もう我慢はできない

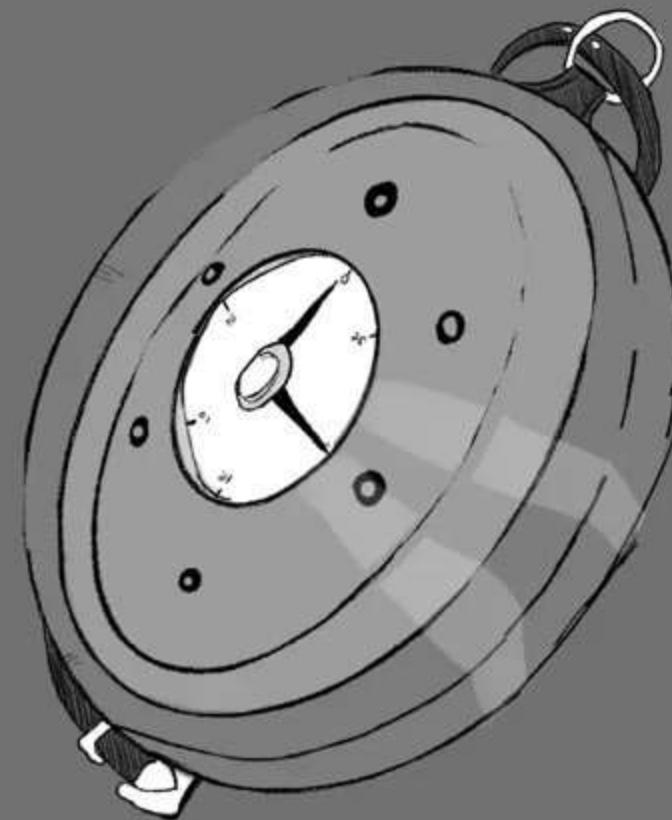
TO BE CONTINUED

冒険者の懐中時計

時の覇者

HP

23.1%



- ・時間停止+30m
- ・持久力+52
- ・精液チャージ効率+42.3%
- ・精液貯蔵量+19.8%

俺がこの聖遺物を手に入れたのはつい最近。
あれはモンドの城壁周辺を見回りしていた時のことだ。
日も沈み、いつもの穏やかな夜が過ぎていくと思っていた。
そこに囁きの森方面から、一体のアビス魔術師がシードル湖を
凍結させながらやってきた。ヒルチャールだったら俺でも相手できる。
だがアビスの魔術師を一人で倒す自信はなかった。
急いで仲間を呼ぼうとしたその時、月光に照らされながら一人の男が現れた。
その男は華麗な身のこなしと、優雅な剣撃であっという間に
アビスの魔術師を倒した。見事なものだった。
男はこちらに気づき、何も言わずその場を後にした。
その姿はまさしく英雄...闇夜の英雄だ。
話が脱線したが、その時アビスの魔術師が落とした聖遺物。
それこそがこの時間停止効果付き懐中時計さ！

時間停止
TIME STOP

やあ、みんな。俺は西風騎士団で非常勤の門兵をやっている…：
はずだつた者だ

偵察とはいえ門兵よりも危険な任務。いつもならすぐにはでも
帰りたいと願うが今回は違う

どうも龍災以降ヒルチャールが活発化しているらしく、門兵の俺まで偵察任務に駆り出された

イチッ

パチッ

ミコ

ツ

そう、なぜなら彼女と一緒にだから



ニイイイ

そして彼女は選ばれし神の目を持つ者でもある。その見た目とは裏腹に、俺よりもずっと強い

彼女はアンバーちゃん。

西風騎士団の偵察騎士で、
どんな人間にも分け隔てなく
笑顔を振りまく明るい子だ



マリ

彼女を心配できるほどの力は
俺にはない。だが、いざとなれば
聖遺物がある。それに今回の
任務は彼女の護衛を兼ねている

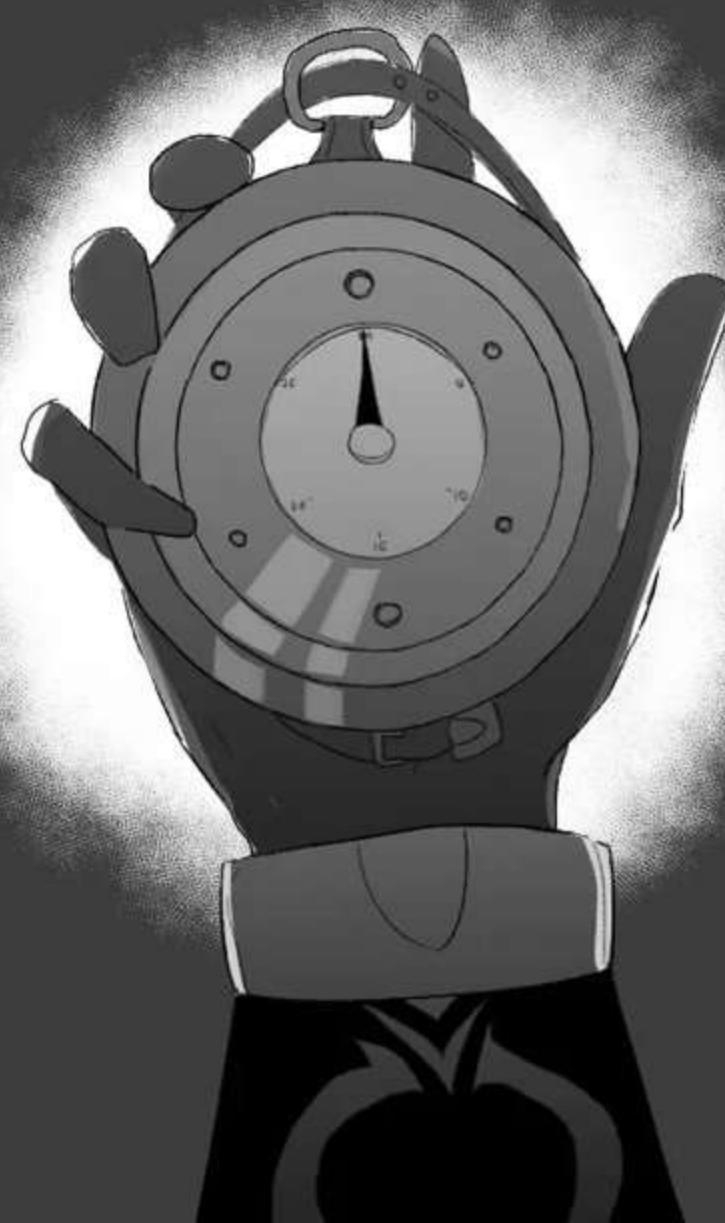
よいしょ、ちょっと辺りを
散策してくるね

一人で大丈夫?
付いていこうか?

ありがとう、大丈夫
遠くまで行かないから

そつか、
気を付けてね

彼女に何かあれば俺も悲しい。
聖遺物の効果は1日合計30分。
今回ばかりは彼女を護るために
使うんだ：



さてさて、アンバーちゃんは
どこまで行ったのかな

おっ、いたいた。あの特徴的な
リボン、間違いない彼女だ

つて…アンバーちゃん!?

ダメだ…彼女を
そ、そういう目で
見るのは…



カブリ…



ごめんね、そうだよね。
その辺でおしつこしてくる
なんて言えないよね…



アンバーちゃん…
ま○こもおしつこも
あつたかい…

これがアンバーちゃんの
おつ、おしつこ…

もやあ

ちよつと
しきはい：

アンバーちゃんの頭の上で、
アンバーちゃんのおしつこで、
ああ…手が止まらない

ペロッ

ヌリュウ

メリュウ

ミヨホホホホ

かけたい…このまま
アンバーちゃんに…っ!!
でもそんなことしたら
バレるし嫌われるツ!!

彼女に嫌われたくない…
でも出したい…あつ、
やばい…出る…っ!!

うつ…ツ!!



はあ、はあ…
俺はなんてことを…

女の子の…
アンバーちゃんの髪の中に
射精してしまった…

TO BE CONTINUED



時間停止

TIME STOP

前回までの原神時姦



たつだいまー!!
辺りに異常はなかつたよ!!

そつか、それは良かつた

ブンッ

ブンッ

ガシャッ

良かつた：・髪に射精した
ことはバレてない。
もうあんなことしちゃ駄目だ

俺も寝ようかな。
おやすみ、アンバーちゃん

そろそろ寝るね。
明日が任務の本番だし

おやすみ、また明日
頑張ろうね

コロコロ

パチッ

無防備すぎる……でも
これ以上アンバーちゃんを
汚すなんて俺にはできない



はあ：

ブトシ

はあ：

ガシャン

1時間後…

起きないでね…

さ、触るだけだから…

はあ…



蒸れた汗の味…



やつぱ我慢できない

ごめんね。
アンバーちゃん

カナリ…





はあ、はあ・ごめん。
服にかかるちゃたね

ドロオ...

目立たないよう胸に
塗り込んであげるね

ヌリヌ...

ぐでヌ...

ドロオ...



うつ、射精るツ!!

TO BE CONTINUED